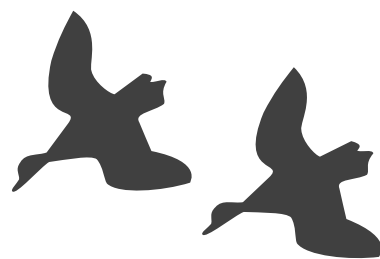


高病原性鳥インフルエンザなどの対策の徹底をお願いします

夏に野鳥の営巣地であるロシア、アラスカで高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました。



渡り鳥の南下が始まって以降、欧州各地、インドでの発生が報告されています。（裏面地図参照）

日本への渡り鳥の飛来も本格化する時期です。

高病原性鳥インフルエンザなどの対策の徹底をお願いします。

飼養衛生管理基準の遵守

特に下の2つに留意ください



衛生管理区域への病原体持ち込み防止

- 関係者以外の立ち入り禁止
- 入場する車の消毒
- 農場専用の衣服、長靴の使用
- 手指の消毒の徹底

野生動物への対策

- 防鳥ネットなどの確認
- 井戸の水などを使用する場合の消毒

いつもと違う様子の時は、早期の通報をお願いします

1日の死亡率が前21日平均の2倍以上



家畜保健衛生所にご連絡ください
(その他、下記のような場合もご連絡ください)

- 5羽以上の鶏がまとまってうずくまっている、死んでいる
- 下のような症状が見られる



脚部の皮下出血

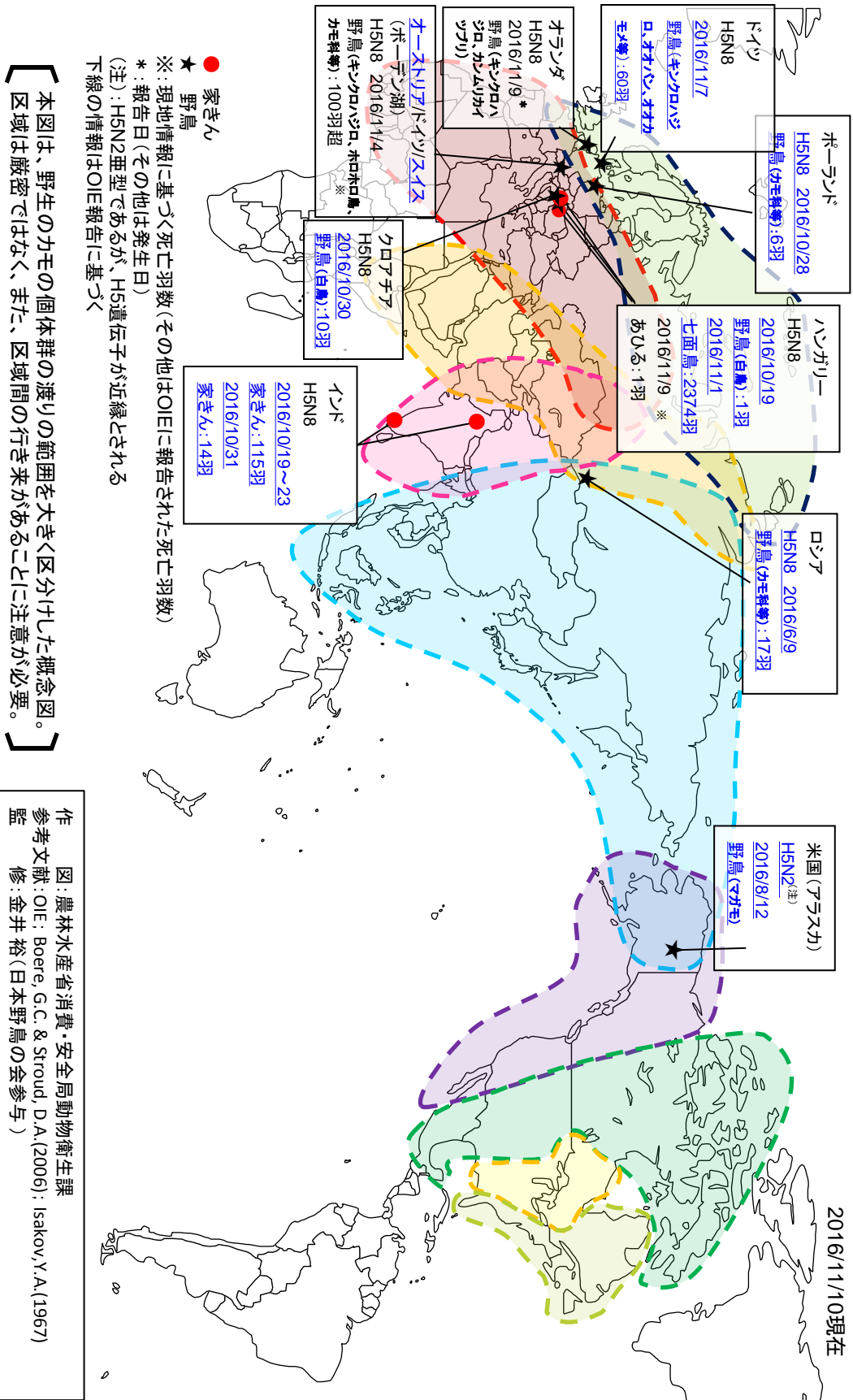


肉垂の出血・壊死



突然の沈うつ

最近のHPAI (H5N8) 発生状況と野鳥 (カモ類) の渡りのルート



飛騨家畜保健衛生所 (飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL : 0577-33-1111 (内線405)

E-mail : c24508@pref.gifu.lg.jp

FAX : 0577-32-9019